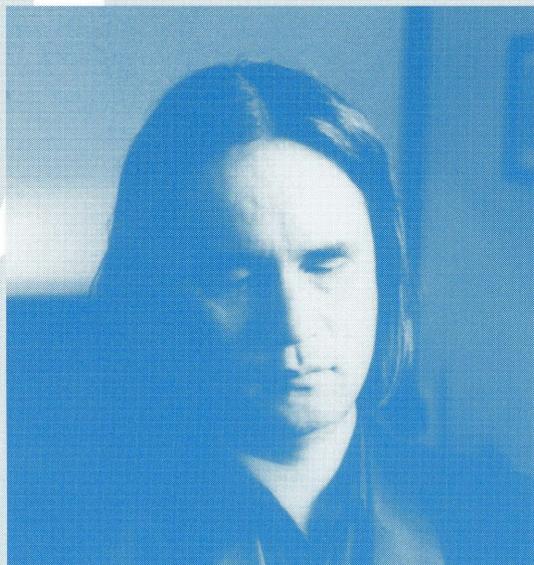


# 小さき星 はるかな空

～ 演奏とおはなし 武久源造

ソプラノ 松堂久美恵 ～



武久源造  
(オルガンほか)

- ・F. メンデルスゾーン  
オルガンソナタ第3番
- ・L. ブラント  
ピエ・イエズ
- ・武久源造  
小さき星 ほか



松堂久美恵  
(ソプラノ)

2007年10月8日(月・祝)

開場 1:30pm 開演 2:00pm

フェリスホール(山手)

会費 1,000円 (フェリス女学院大学  
音楽学部学生のみ無料)

主催：フェリス女学院大学音楽学部同窓会 (Fグループ)

後援：フェリス女学院大学音楽学部

協賛：白菊会 りてら りべるて フェリス音楽教室

お問合せ：Fグループ同窓会事務局

TEL/FAX 045-681-6740 (木曜 10:00~17:00)

井上千佳子



Fグループ研修会

# 小さき星 はるかな空

講師 武久源造（鍵盤楽器奏者）

松堂久美恵（ソプラノ）



日時 2004年10月8日(月・祝) 14:00

場所 フェリスホール(山手)

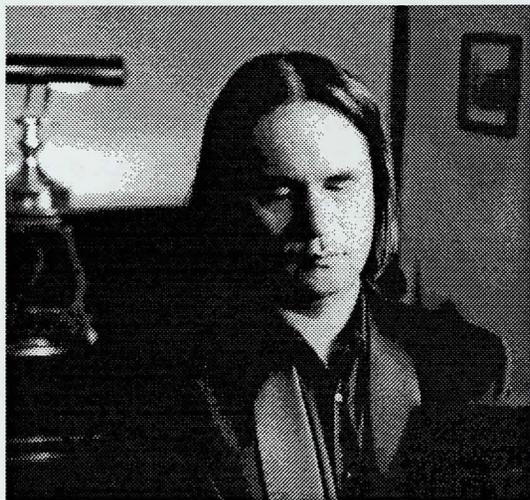
主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会(Fグループ)

協賛 白菊会／りてら／りべるて／フェリス音楽教室

★・★・★・★・ P R O G R A M ・★・★・★・★

1. D. ブクステフーデ  
幻想曲 テ・デウム より BuxWV218 (オルガン独奏)
  
2. J. F. ドッペルバウアー  
サルヴェ・レジーナ (ソプラノ & オルガン)
  
3. L. ブランジェ  
ピエ・イエズ (ソプラノ & オルガン)
  
4. 武久源造  
オルガンによる即興 (オルガン独奏)  
————— 休憩 —————
  
5. 武久源造  
「さんびか」より 小さき星 (ソプラノ & ピアノ)
  
6. 武久源造  
「マザーグース」より しあわせなねむりが  
(ソプラノ & ピアノ)
  
7. 讚美歌 21 より  
「主の招く声が聞こえてくる」 (ソプラノ & オルガン)
  
8. メンデルスゾーン  
オルガン・ソナタ第3番 作品 65-3 (オルガン独奏)

## 武久源造(たけひさ・げんぞう) / 鍵盤楽器奏者



東京芸術大学大学院音楽研究科修了。チェンバロ、ピアノ、オルガンを中心に各種鍵盤楽器を駆使して中世から現代まで幅広いジャンルにわたり、様々なレパートリーを持つ。特にドイツ鍵盤作品では、その独特で的確な解釈に内外から支持が寄せられている。また、作曲、編曲作品

を発表し好評を得ている。1991年より国内外に於ける多数のコンクールの審査員をつとめる。2000年に器楽・声楽アンサンブル「コンヴェルスム・ムジクム」を結成し、指揮・編曲活動にも力を注いでいる。2002年より毎年、韓国からの招請により「コンヴェルスム・ムジクム韓国公演」並びにソロリサイタル、特別講義、韓国の演奏家とのアンサンブルなどを行い、両国の音楽文化の交流に大きな役割を果たしている。日本国内音楽ホールのほとんどのオルガン、各地の教会オルガンの多数を演奏した経験を持ち、大規模オルガンからポジティブまで様々なオルガンによるリサイタルを催し好評を得ている。1991年よりプロデュースも含め20作品以上のCDをALM RECORDSよりリリース。「鍵盤音楽の領域」(Vol.1~6)、「ゴルトベルク変奏曲」、「J.S.バッハオルガン曲集 Vol.1」、オルガン作品集「最愛のイエスよ」、ほか多数の作品が「レコード芸術」誌の特選盤となる快挙を成し遂げている。2002年に著書「新しい人は新しい音楽をする」(アルク出版企画)を出版。2005年より鍵盤楽器の新領域とも言えるシンフォニーのピアノ連弾版に取り組み多方面から注目を集めている。2006年、NHKラジオ第一放送「わくわくラジオ」にシリーズレギュラーとして年間を通して出演。現在フェリス女学院大学音楽学部器楽科講師。

## 松堂久美恵(まつどう・くみえ)ノソプラノ



フェリス女学院短期大学音楽科卒業。同専攻科修了。在学中、三宅賞受賞。朝倉蒼生、渡邊明、牧野正人の各氏に師事。二期会オペラスタジオ研究生マスタークラス修了。二期会新進声楽家のタベ、二期会ミュージカル、オペラに出演後、1993～4年、ウィーンに留学し、オルガ・ワルラ・コロ女史に師事。帰国後、国立音楽大学音楽研究所研修生としてイタリア初期バロックの歌唱法を学ぶ。1996年、友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。ヴィヴァルディ「グローリア」、バッハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「カンタータ」、「ロ短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「ネルソンミサ」、フォーレ「レクイエム」など、宗教曲のソリストを多く務める。また、2003年モーツァルト「第一戒律の責務」のピリオド楽器による日本初演に出演。ドイツ歌曲によるリサイタルを度々行い、好評を得ている。「コンヴェルスム・ムジクム」のメンバーとして演奏会や録音に参加。ALMレコードより「バッハ：ヨハネ受難曲」、「ヘンデル：メサイア」、「シューベルト 1820 ます」などのCDがある。現在は立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の声楽指導に携わっている。